

英語のリスニング学習について—
ポッドキャストとオーディオブックの利用
On English Listening Practice: The Use of Podcasting and Audiobooks

林 弘美

Hiromi Hayashi

英語・英語学研究室

E-Mail:hhayashi@my-pharm.ac.jp

1. 継続的な英語学習のために¹⁾

英語学習を継続的に行う必要のあることについては改めて言うまでもなく、授業だけで学習が完結するわけではないことは、林 (2006, 2007b)でも主張した通りである。昨年出版された英語学習に関する書籍の中でも、例えば、大津 (2007: 5)は(1)、斎藤 (2007: 30-31)は(2)のように述べている。

(1) … 観光旅行に行って、「やあ!」「こんにちは」程度のやり取りをするだけなら話は別ですが、しっかりとした英語を身につけたいというのであれば、まずは相当の覚悟が必要であるということを明らかにしたいと思います。

(2) いずれにしても、自分の毎日の生活の中でつねに英語に触れるような工夫をすることが大切です。そして、生活の中で学習の時間を作り出す工夫は、英語の勉強だけでなく、ほかの勉強にも生かされますので、かならず行うようにしてください。

専門科目の学習にも時間をかけるべき学生にとって、英語学習を行う時間を継続的に確保するには各人なりの工夫が求められる。本稿では、まず手軽に行えるものの一案として、デジタルオーディオプレー

¹⁾ 本稿は、2008年2月15日に行われた“第10回マルチメディアを基礎にした教育発表会(於: 明治薬科大学)での口頭発表に加筆・修正を加えたものである。発表を聴いてくださった皆様に感謝を申し上げます。

ヤーの利用について述べる。

デジタルオーディオプレーヤーは、ポータブルオーディオプレーヤー、あるいは、(音声圧縮形式としてMP3ファイル方式が主流であったことから)MP3プレーヤーと呼ばれることもある。携帯性にすぐれ、“いつでもどこでも”利用できるという特徴がある。製品としてはApple社のiPod等が人気となっている。最近では、携帯電話やゲーム機の中にも英語学習用を含めた音声データを利用できるものがあり、それらも広義のデジタルオーディオプレーヤーと考えることができるかもしれない。さらに、ICプレーヤーも携帯性に優れポッドキャストに対応しているものがあるという点で共通点を持つ。²⁾

以下では、デジタルオーディオプレーヤーを利用した英語学習の題材として、近年注目されているポッドキャスト、および、オーディオブックを取り上げる。また、2007年12月に本学の学生の一部を対象に行った、IT機器を利用した英語学習の現状に関するアンケートの結果についても報告する。

2. ポッドキャスト

ポッドキャストについては、林 (2006)でも報告した。ここでは、ポッドキャストの仕組みを簡単に説明した後、林 (2006)当時では数少なかった動画対応のポッドキャスト(ビデオポッドキャスト

²⁾ ICプレーヤーの中にはラジオ番組を予約録音できるタイマー録音機能を持つものもあり語学学習に活用しやすい。

ト)の中から英語学習に利用しやすい番組を2つ紹介する。

ポッドキャストは、インターネット上で配信される番組を PC やデジタルオーディオプレーヤー (iPod 等) で聞く仕組みである。言葉としては、iPod の“Pod”と放送(broadcasting)の“casting”を組み合わせた造語であるが、iPod 以外のデジタルオーディオプレーヤーで聞くことも可能であるし、上述のように PC で聞くことも可能である。実際の番組を視聴する準備段階として、番組を登録・再生するためのソフト(iTunes 等)をダウンロードし、それを利用して番組を登録する。このように番組を登録することに“購読”という用語を使用するが、番組自体は大抵の場合無料である。

番組を一度登録・購読すると、次回 iTunes 等を起動する際には、前回接続した時点以降に配信されたものが自動的にダウンロードされる仕組みとなっている。デジタルオーディオプレーヤー (iPod 等) を利用する場合は、適切なケーブルで PC と接続することにより iTunes に保存されている番組を転送することができる。

このような仕組みにより、様々な番組の中から自分の興味にあったものを選び、それを継続的に視聴することが容易になっている。³⁾

ポッドキャスト番組の中でも動画対応であるものの利点として、動画・画像が英文の理解の助けになることに加え、字幕が添えられる場合には直接的に内容把握に役立つことになる。動画対応のポッドキャスト番組の内容は、ニュース、ドキュメンタリー、映画関連、と多岐にわたる。ここでは、ドキュメンタリーとして“Discovery News”、映画関連として“G+英語館”を取り上げる。

まず、“Discovery News”は、次のようなものである。

³⁾ ポッドキャストについては、次のサイトが参考になる。①<http://podcast.alc.co.jp/howto/> ②<http://trendy.nikkeibp.co.jp/article/tokushu/gen/20051129/114474/> ③<http://medieigo.com/podcast/podcast.html>

(3) “Discovery News”

URL: <http://dsc.discovery.com/video/>

1 番組 2、3 分程度

随時更新

自然科学系の話題を中心に様々な番組が提供される。字幕が効果的に使われている場合もあり、ナレーション(英語)も聞きやすい。

次に、“G+英語館”を紹介する。

(4) “G+英語館”

URL: <http://podcast.yomiuri.co.jp/eigokan/>

1 番組約 7 分

毎月第1、3火曜日更新

毎回、新作映画の紹介(映画の予告編)で始まり、映画の中から 2 つの場面を取り上げて聞き取り練習をし、さらに関連する英語表現を紹介するという構成となっている。映画を利用して英語を勉強したいという学生は多く、楽しみながら視聴することのできる番組であると思われる。

以上の 2 番組も含め、ポッドキャストは、デジタルオーディオプレーヤーがなくても PC 上で視聴することが可能であることが多い。ただし、PC 画面の一部で動画を見るよりもデジタルオーディオプレーヤーの画面全体で見たほうが臨場感が得られることが多いと思われる。また、PC 上では番組が再生されるまでの時間がかかることがあり、デジタルオーディオプレーヤーを利用した方が(登録の手間はかかるものの)携帯性・利便性共に優れていると思われる。

3. オーディオブック

オーディオブックとは、本の内容を CD 等により音声で提供するものである。本の内容を完全に音声化したもの(Unabridged 版)と簡略版(Abridged 版)とがある。⁴⁾例えば、アマゾン(<http://www.amazon.co.jp/>)で

⁴⁾ iTunes では、CD やテープといった媒体なしに音声データを直接 PC にダウンロードする形式のものをオーディオブックとして購入することが

は洋書のジャンルのひとつとして“Audio CDs(オーディオブック)”が設けられており、そこには数多くのオーディオブックが並んでいる。自分の興味に合ったものを選ぶことができるはずである。著者自身が朗読しているものもある。価格は数千円のものが多い。ここでは、比較的聞きやすいオーディオブックの例として、*Chasing Life*と*Alice in Wonderland*を取り上げる。

(5) *Chasing Life* (CD) [Abridged 版]

Sanjay Gupta 著・朗読

Hachette Audio 刊、2007 年

CNNのMedical CorrespondentであるSanjay Gupta氏による著作であり、健康や長寿に関する話題が収められている。書籍はハードカバー版が2007年に出版された。(2008年4月にペーパーバック版が出版される予定である。)

(6) *Alice's Adventures in Wonderland* (CD)

[Unabridged 版]

Lewis Carroll 著

複数の俳優による朗読、効果音つき

Naxos Audio Books 刊、2006 年

Lewis Carrollの『不思議の国のアリス』が朗読劇になっている。ストーリーが有名であるので、英語自体を楽しめるはずである。

4. 理想的な組み合わせ

理想的には、ポッドキャストにより最新の話

できる。この場合購入前に試聴することができる。また、audible.comというサイト(<http://www.audible.com>)でも同様に音声データを購入できるということである。(筆者はaudibleの利用経験はない。)audibleおよびオーディオブック一般については、次のWebサイトに詳しい情報がある：“CD、テープを聴いて勉強しよう！！”(http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/audio_book)。

題に触れる習慣をつけつつ、オーディオブックによりしっかりした内容のものを英語で味わうというように、自分の興味や理解力に合わせてポッドキャストとオーディオブックの中からいくつかのものを組み合わせ利用していくことが望ましいと思われる。

もちろん、他にも、洋書・雑誌・新聞等を利用した多読、PC(英文Webサイト・英語学習用CD-ROM)、テレビ・ラジオの語学番組といった様々な英語学習方法があり、各自が自分に合う組み合わせ・学習方法を考えていくことが出来る。NHK ラジオ外国語講座「ビジネス英会話」がインターネットのWebサイトでも視聴できるというように、各種メディアの連携が進んでいる状況であることも、より学習しやすい方法が見つかる可能性を広げている。⁵⁾

明治薬科大学では、図書館にレベル別多読用英語教材Oxford Bookworms Libraryを揃え、CALL教室の学生用PC70台にCD-ROM教材“Medical English”をインストールする等、学生の自発的な英語学習を支援している。⁶⁾さらに、必修の英語科目の授業においても、英文Webサイト“Healthology”から題材をとった教材を使用したり、上述のCD-ROM教材“Medical English”を使用したりするなどの方法により、授業がその後の自発的学習へとつながっていくように考慮している(詳細については、林(2006, 2007a)を参照)。また、筆者は学内LANに英語学習の役に立つWebサイト一覧を掲載し、学生にその活用を勧めている。

ただし、2節と3節で取り上げたポッドキャストやオーディオブックは、授業内で一斉に学習法を指導するという事は難しい。ポッドキャストの場合、PC上で見る段階まではCALL教室での授業

⁵⁾ 「ビジネス英会話」のWebサイトは<http://www.nhk.or.jp/gogaku/english/business/index.html>である。

⁶⁾ CD-ROM教材“Medical English”は、文部科学省科学研究費補助金による特定領域研究「高等教育改革に資するマルチメディアの高度利用に関する研究」(領域代表者 坂元昂)の中の計画研究「外国語CALL教材の高度化の研究」(研究代表者 竹蓋幸生)の研究で制作されたものである。

内で行うことができるが、デジタルオーディオプレーヤーに転送するには学生が iPod などの機器を持っている必要があり、さらに個々の設定も様々であるので口頭での紹介にとどめている。また、オーディオブックについても、学生が自発的に聞きたいという気持ちを持つことを期待している段階である。

5. 本学学生の現状

実際に、本学の学生がどの程度 PC やインターネット等の IT 関係を利用した英語学習に興味があるかということに関し、2007 年 12 月にアンケート(無記名)を行った。対象学生は、筆者が担当していた英語必修科目の受講生(1 年生「総合英語 B」履修学生 1 クラスと 2 年生「薬学英語 B」履修学生 3 クラス)であり、合計 156 人から回答を得た。学年・クラスに関わらず同じ傾向が見られたため、ここではアンケート結果をまとめて示す。

アンケートは、CALL 教室で行った授業の最後の 5 分ほどを利用して行った。次のようなもの(太字部分)である。

(7)

IT 利用の英語学習に関するアンケート

2007. 12

1. 次のものについて、簡単に説明します。

a. インターネット

b. ポッドキャスト

(インターネット利用・デジタルオーディオプレーヤー(iPod 等)利用)

c. CD-ROM (例: Medical English)

d. オーディオブック (例: Chasing Life)

2. 説明をきいて、今後、英語の勉強に利用してみようと思ったもの(あるいはすでに利用しているもの)に○をつけてください。(いくつでも結構です。)

a. ()インターネット

b. ()ポッドキャスト

c. ()CD-ROM

d. ()オーディオブック

e. ()デジタルオーディオプレーヤー

f. ()MDプレーヤー

g. ()カセットプレーヤー

h. ()ラジオやテレビの英語講座

i. ()市販の英語教材

j. ()映画

k. ()その他→具体的にお書きください。

()

3.

Healthology のサイトを授業以外で見たことがありますか。(Yes / No)

Healthology のサイトを今後授業以外で見ようと思えますか。(Yes / No)

4. パソコン、インターネット、デジタルオーディオプレーヤーなどを利用して英語を勉強することに関して、意見・感想をお書きください。

このアンケートは、今後の授業、および、英語学習に関する私の研究論文に利用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

明治薬科大学 英語・英語学 林 弘美

アンケート結果は、以下の通りであった。まず、2 a-k で○をつけられた数は、それぞれ(8)に示す数字であった。

(8) a. インターネット	120
b. ポッドキャスト	73
c. CD-ROM	23
d. オーディオブック	4
e. デジタルオーディオプレーヤー	34
f. MD プレーヤー	18
g. カセットプレーヤー	2
h. ラジオやテレビの英語講座	18
i. 市販の英語教材	17
j. 映画	89

k. その他

7

(具体的には、洋楽の歌詞、英文メールのやり取り、映画の原作の本、任天堂 DS)

项目的には機器(ハード面)とコンテンツ(ソフト面)を分けることが難しく、混在させたまま尋ねているが、これらの中でインターネット、ポッドキャスト、映画を利用しようとする学生が多いことがわかる(すでに利用している学生も含む)。

3の Healthology のサイトは、4節で述べた通り授業で教材として利用したものである。この Web サイトを授業以外で見たことのある学生は 19 人、見たことのない学生は 132 人であった。今後見てみようと思っている学生は 78 人、思わない学生は 67 人ということで、ちょうど半数の学生が授業後にもこのサイトを利用しようという気持ちになっていることになる。⁷⁾しかし、筆者としては、授業でとりあげたにもかかわらずこの結果ということは、英文サイト Healthology の利用はまだ不十分であると感じている。

4の自由記述の項目に対する答えのうち主なものを下に示す。

(9)

- a. 今までパソコンで英語を勉強したことがなかったので新鮮でした。
- b. 楽しく勉強できるので、よいと思います。もっと、いろいろと紹介して欲しいです。
- c. 改めて耳での勉強の大切さに気付きました。
- d. こういうのがあるのかというのが感想です。
- e. けっこう有用な資料がネット上にたくさんあって良いなと思います。リスニングもできるので効率も良いと思います。
- f. 興味があることを自分で選んで勉強できる環境になったのはとても良いと思う。
- g. 映画の聞きとりは面白そうです。

⁷⁾ Healthology の Web サイトを今後見るかどうかという質問に対して、「わからない」と自分で書いたり Yes と No の間に○をつけたりするなど、迷っていることを示す学生が 5 人いた。

h. インターネットはとても充実しているので、これからも英語をたくさん聞くために利用しようと思います。とても興味あります。

i. iPodを使って英単語の podcast を以前からやっていました。今回のような説明をたくさんの学生にやれば、有効活用する人はどんどん増えていっていいと思います。

j. 知らないことが多かったので教えてもらえて良かったです。

k. ポッドキャスト等の情報をもっとあるといい。

l. サイトへのいき方をもっとくわしく知りたい。

m. リスニング能力をつけるにはぴったりだと思う。

n. 記憶にも残りやすいのでこれらのものを使って英語学習するのはよいと思う。

o. ネイティブの発音が聞けるし、時事ネタなので興味をもってやれる。

p. リスニングの受験があったので耳慣れするために聞いていたことがありました。

q. 医学系の内容は興味があるので見てみようと思います。

r. 少しやってみようと思った。

s. インターネットを使ってリスニングをするのは楽しかったのでよいと思います。

t. インターネットを利用したリスニングの勉強(あるいは耳に英語を慣れさせる)は、手軽にできていい手段だと思う。授業で色々知ることができて良かった。

u. ちょっとした時間にできるのがよい。

v. 時間のあいたときにできる、デジタルオーディオプレイヤーの利用はいいと思う。

w. オーディオプレイヤーは通学などで便利だと思う。

x. あまり英語に時間をかけることができないので、移動時に利用できるようなものが便利だと思う。

y. インターネットは記事を読んだり時々していますが、機械オンチなので iPod が宝の持ちぐさになる気がして手が出ません。

z. 機械は難しいからあんまり気が進まない。

- aa. とても強い意欲が無いと遊びにはしると思います。
bb. お金がかかるので、利用しないと思います。
cc. 画面上の操作では、なぜか頭に入って来にくい気がしました。

これらを見ると、多くの学生が PC やデジタルオーディオプレーヤーを利用した英語学習に興味を示していることがわかる。特に、(9t-x)の学生は、本稿の主旨である利便性の高さに注目している。適切な情報を提供することにより、学生が授業以外でも自発的・積極的に英語学習を行うことを支援できる可能性が高いと思われる。ただし、(9z-cc)のように、機器を利用することに対して否定的な意見を抱いている学生がいることにも留意したい。

6. おわりに

本稿では、継続的に英語学習を行ううえで利便性の高い方法のひとつとして、デジタルオーディオプレーヤーを利用してポッドキャストやオーディオブックを視聴することについて述べた。学生に対するアンケート結果からも PC やデジタルオーディオプレーヤーを利用した英語学習に興味を示す者が多いことがわかった。今後も、授業との連携を含め、適切な情報の提供により、学生が授業以外にも自発的に英語学習を継続していけるように支援していきたいと考える。

引用文献

- 大津 由紀雄 (2007)
『英語学習 7 つの誤解』生活人新書。
斎藤 兆史 (2007)
『これが正しい! 英語学習法』筑摩書房。
林 弘美 (2006)
「学生の自発的英語学習支援のために」
『明治薬科大学研究紀要』36, 48-52。
林 弘美 (2007a)
「英語の授業および自発的学習のための英文サイト」
『明治薬科大学研究紀要』37, 70-73。
林 弘美 (2007b)
「IT 利用の自発的英語学習」
IT コンソーシアムにおけるポスター発表(於: 明治薬科大学), 2007. 10. 19.

<参考: ポッドキャスト番組紹介サイト>

英語学習関係

○<http://podcast.alc.co.jp/p-directory/>

○<http://podcast.yahoo.co.jp/search?t=1&c=t&q=%B1%D1%B8%EC>

医学英語関係(Web サイトも含む)

○<http://medieigo.com/link/website.htm#01>